# 使用・メンテナンス時

## 1. 保守・点検

### ⚠ 警告

■安全遮断弁の通り抜け事故防止のためのチェックを定期的に行ってください。

いかに強力なスプリングを使用した安全遮断弁でも、弁シート部分に異物が挿って完全に閉っていなければ、炉内にガスが漏洩してしまいます。そしてしばしばこの通り抜け事故が現実に起こっていることから考えても、この定期的点検は必ず行ってください。

●定期点検

バルブ（1）を閉めテストバルブ（3）の先にゴムホースをつなぎ、その先端をビーカなど水を入れた容器の水中に 10mm 位浸し、テストバルブ（3）を開いて泡がでるかどうかを確認します。もし、泡が引きつづき発生し止まらない場合は、安全遮断弁が漏洩しているので、修理または取替えを行ってください。

漏洩量の正確な測定は、水を入れたメスシリンダ内にガスを捕集して行います。（図３参照）

（定期点検の方法は安全技術指標に具体的に採り上げてあります。）

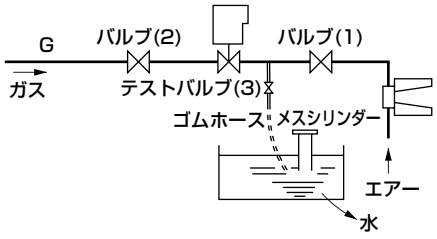


図３：安全遮断弁のテスト方法

### ⚠ 注意

■バルブ等を足場にしたり、重量物を乗せたりしないでください。

■１ヶ月以上未使用の場合は、始業前に試運転を行ってください。

■保守・メンテナンス時は取扱説明書をよく読んで内容をご理解の上、作業を行ってください。

■保守する前には、必ず電源を切り、流体および圧力を抜いてください。

■ストレーナ・フィルタの目詰まりにご注意ください。

## 2. 分解・組立

### ⚠ 警告

■弁内部、自動バーナコントローラの分解は行わないでください。